



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月14日

上場会社名 株式会社インバウンドテック 上場取引所 東
コード番号 7031 URL <https://www.inboundtech.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 東間 大
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO 専務執行役員 管理本部長 (氏名) 金子 将之 TEL 03-6274-8400
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	1,964	△21.0	26	△89.6	22	△91.2	3	△98.0
2024年3月期第3四半期	2,485	3.4	255	△29.8	250	△30.5	155	△35.5

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 2百万円 (△98.5%) 2024年3月期第3四半期 154百万円 (△38.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	1.28	1.24
2024年3月期第3四半期	60.92	58.13

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	3,547	2,632	58.0
2024年3月期	3,777	2,682	55.8

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 2,057百万円 2024年3月期 2,108百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,500	△24.7	20	△93.9	15	△95.4	0	△99.6	0.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	2,492,275株	2024年3月期	2,616,600株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	85,500株	2024年3月期	150,162株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	2,462,088株	2024年3月期3Q	2,555,067株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結会計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、マルチリンガルCRM事業における日本語案件につきましては、民間企業から受託する案件数は安定的な増加が続いておりますが、案件単位での売上・利益の額が大きい官公庁等の入札業務については、競合の参入増による競争激化及び昨今の経済状況から係る人件費の高騰など厳しい環境が続いております。一方、多言語分野に係る業務の受注及び入電数については、インバウンド需要増に伴い順調に増加傾向が続いており、今後も安定した成長が見込まれる状況です。しかしながら、日本語の入札業務の剥落分をカバーできるまでには至っておらず、今しばらく時間を要するものと考えられます。また、事業の新たな柱を目指して前期より医師会及び健康保険組合の帳票作成代行等のヘルスケアBPO事業に取り組んでおりますが、当該事業については成長途上であり、人材の採用活動費用及び人件費並びに事業拠点の整備に係る費用などについて先行支出が続いており、収益化が視野に入りつつある状況となっておりますが、グループへの利益貢献につきましては来期以降になるものと見込んでおります。

セールスアウトソーシング事業においては、主力業務であります訪問による東京電力グループの顧客向け営業業務が計画に近い形で進捗してまいりました。また、もう一つの主力業務であるソフトバンクモバイルにおける契約勧奨業務については、当中間連結会計期間以降徐々に計画との乖離が生じ、加えて今期に計画していた新規案件の立ち上がり計画より大きく遅れている状況となっていることから、セグメント売上高・利益共に計画を下回る推移となりました。

その結果、当第3四半期連結会計期間の売上高は前年同期と比べ521,320千円減少し1,964,103千円、営業利益は前年同期と比べ228,651千円減少し26,573千円、経常利益は前年同期と比べ228,476千円減少し22,117千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期と比べ152,504千円減少し3,160千円となりました。

	前第3四半期連結 累計期間(千円)	当第3四半期連結 累計期間(千円)
売上高	2,485,424	1,964,103
営業利益	255,224	26,573
経常利益	250,593	22,117
親会社株主に帰属する四半期純利益	155,665	3,160

セグメント別概況

・マルチリンガルCRM事業の概況

マルチリンガルCRM事業におきましては、日本語を含む13カ国語を活用し、外国人と日本人のコミュニケーション問題を解決する多言語・通訳ソリューションを24時間365日体制で提供しております。

コロナ禍以降長らく低迷していた多言語によるサポートニーズですが、訪日外国人観光客の増加に伴い、当第3四半期連結会計期間については、入電数や新規案件の引き合い増など、インバウンド関連は回復基調が継続しております。しかしながら、BtoB市場におけるインバウンド関連の本格的な需要増及び業績への具体的な寄与につきましては途上であると認識しております。また、前期までセグメント売上・利益を大きく牽引していた新型コロナウイルス関連のスポット案件のシュリンクに伴い、新たな事業の柱とするべく医師会及び健康保険組合の帳票作成代行等のヘルスケアBPO事業に取り組んでおりますが、当該事業については成長途上であり、人材の採用活動費用及び人件費並びに事業拠点の整備に係る費用などについて先行支出が続いております。当事業については収益化が視野に入りつつある状況となっておりますが、グループへの利益貢献につきましては来期以降になるものと見込んでおります。また、日本語案件につきましては民間企業からの受託は安定して増加基調にあります。案件単位の売上・利益の額が大きい官公庁等の入札業務については、競合の参入増や係る人件費の高騰に加え、公示が一巡したタイミングであることから、当初計画を下回る厳しい環境が続いております。

以上の結果、マルチリンガルCRM事業全体では、売上高は1,357,022千円(前年同期比21.3%減)、セグメント利益は234,765千円(同44.1%減)となりました。

	前第3四半期連結 累計期間(千円)	当第3四半期連結 累計期間(千円)
売上高	1,724,773	1,357,022
セグメント利益	419,662	234,765

・セールスアウトソーシング事業の概況

セールスアウトソーシング事業では、主に当社がクライアント企業に代わって見込みユーザーに対してインサイドセールス等を行っております。当第3四半期連結会計期間については、主力業務であります訪問による東京電力グループの顧客向け営業業務が計画に近い形で進捗してまいりました。また、もう一つの主力業務であるソフトバンクモバイルにおける契約勧奨業務については、当第3四半期連結会計期間以降徐々に計画との乖離が生じ、加えて今期に計画していた新規案件の立ち上がりがクライアントとの条件折衝や稼働人員の確保などに時間を要しており、計画より大きく遅れている状況となっていることから、セグメント売上高・利益共に計画を下回る推移となりました。

以上の結果、セールスアウトソーシング事業全体では、売上高は614,857千円（前年同期比19.4%減）、セグメント利益は97,505千円（前年同期比36.4%減）となりました。

	前第3四半期連結 累計期間（千円）	当第3四半期連結 累計期間（千円）
売上高	762,758	614,857
セグメント利益	153,235	97,505

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は現金及び預金に加え売掛金の減少及び固定資産の償却などにより、前連結会計年度末に比べ230,096千円減少し3,547,769千円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ184,824千円減少し2,097,632千円、固定資産は前連結会計年度末に比べ45,271千円減少し1,450,136千円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は短期借入金が増加した一方、買掛金、未払法人税等及び長期借入金の減少などにより前連結会計年度末に比べ180,117千円減少し915,115千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は利益剰余金の減少及び自己株式の消却などにより前連結会計年度末に比べ49,978千円減少し2,632,654千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績につきましては、当第3四半期連結累計期間の実績を踏まえ、前回予想を修正しております。詳細は2025年2月14日付にて別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,701,535	1,626,002
売掛金	535,430	380,553
その他	45,822	91,252
貸倒引当金	△330	△175
流動資産合計	2,282,457	2,097,632
固定資産		
有形固定資産	143,090	127,313
無形固定資産		
のれん	633,955	566,477
顧客関連資産	317,750	287,000
その他	200,281	275,221
無形固定資産合計	1,151,987	1,128,698
投資その他の資産	200,330	194,124
固定資産合計	1,495,408	1,450,136
資産合計	3,777,866	3,547,769
負債の部		
流動負債		
買掛金	132,890	73,712
短期借入金	300,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	144,000	144,000
未払法人税等	44,529	2,947
賞与引当金	1,800	360
リース債務	—	1,516
その他	218,986	140,297
流動負債合計	842,206	762,834
固定負債		
長期借入金	252,000	144,000
資産除去債務	1,026	1,034
リース債務	—	7,246
固定負債合計	253,026	152,281
負債合計	1,095,233	915,115
純資産の部		
株主資本		
資本金	547,696	548,024
資本剰余金	582,784	536,449
利益剰余金	1,168,121	1,053,233
自己株式	△189,710	△79,955
株主資本合計	2,108,891	2,057,750
新株予約権	19,407	21,466
非支配株主持分	554,333	553,437
純資産合計	2,682,632	2,632,654
負債純資産合計	3,777,866	3,547,769

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	2,485,424	1,964,103
売上原価	1,811,580	1,521,261
売上総利益	673,843	442,841
販売費及び一般管理費	418,619	416,268
営業利益	255,224	26,573
営業外収益		
受取利息	9	172
雇用調整助成金	21	58
還付加算金	34	8
保証金精算益	—	140
その他	5	45
営業外収益合計	70	423
営業外費用		
支払利息	3,065	4,153
支払手数料	1,635	726
営業外費用合計	4,701	4,879
経常利益	250,593	22,117
特別利益		
自己新株予約権消却益	—	837
特別利益合計	—	837
特別損失		
固定資産除却損	401	0
特別損失合計	401	0
税金等調整前四半期純利益	250,192	22,954
法人税、住民税及び事業税	86,894	9,976
法人税等調整額	9,066	10,714
法人税等合計	95,960	20,690
四半期純利益	154,232	2,263
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,433	△896
親会社株主に帰属する四半期純利益	155,665	3,160

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	154,232	2,263
四半期包括利益	154,232	2,263
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	155,665	3,160
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,433	△896

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年8月28日開催の取締役会決議に基づき、自己株式85,500株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が61,326千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が79,955千円となっております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

これらによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	75,991千円	102,089千円
のれんの償却額	66,807	67,478

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マルチリンガル CRM事業	セールスアウト ソーシング事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,722,665	762,758	2,485,424	—	2,485,424
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,107	—	2,107	△2,107	—
計	1,724,773	762,758	2,487,531	△2,107	2,485,424
セグメント利益	419,662	153,235	572,897	△317,673	255,224

(注) 1. セグメント利益の調整額△317,673千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マルチリンガル CRM事業	セールスアウト ソーシング事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,352,422	611,681	1,964,103	—	1,964,103
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,599	3,176	7,776	△7,776	—
計	1,357,022	614,857	1,971,879	△7,776	1,964,103
セグメント利益	234,765	97,505	332,270	△305,697	26,573

(注) 1. セグメント利益の調整額△305,697千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。